

第4次産業革命を担う「高度IT技術を活用したビジネス創造プログラム」
開発に向けたアンケート（技術者の方）

実施期間 : 平成29年9月22日（金）～10月27日（金）

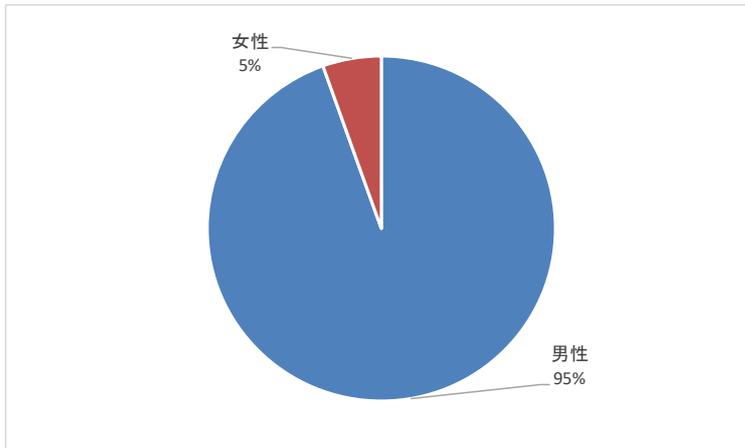
対象 : CSAJ 正会員企業

設問数 : 23

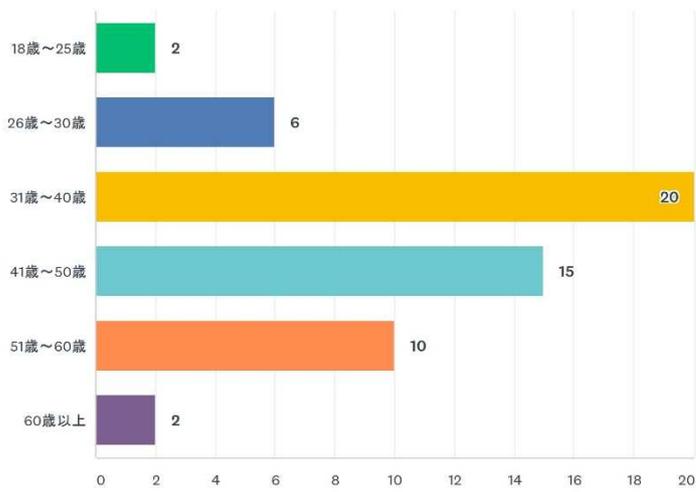
有効回答数 : 55 件

【回答者プロフィール】

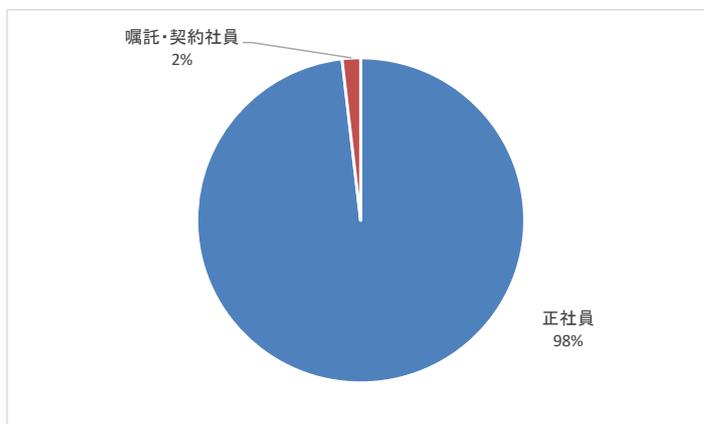
Q: あなたの性別についてお伺いします。



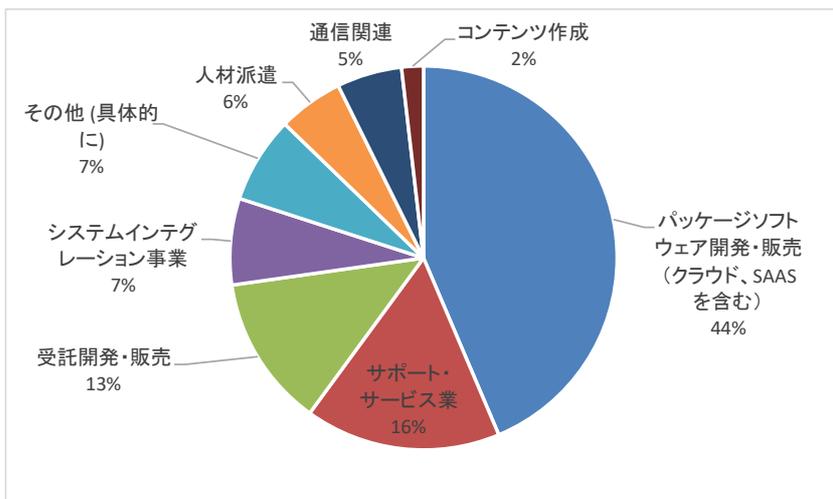
Q: あなたの年齢についてお伺いします。



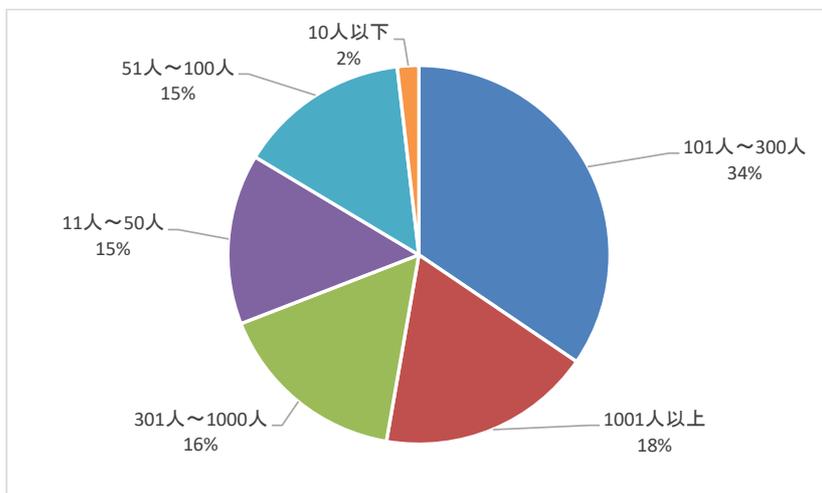
Q: あなたの雇用形態についてお伺いします。



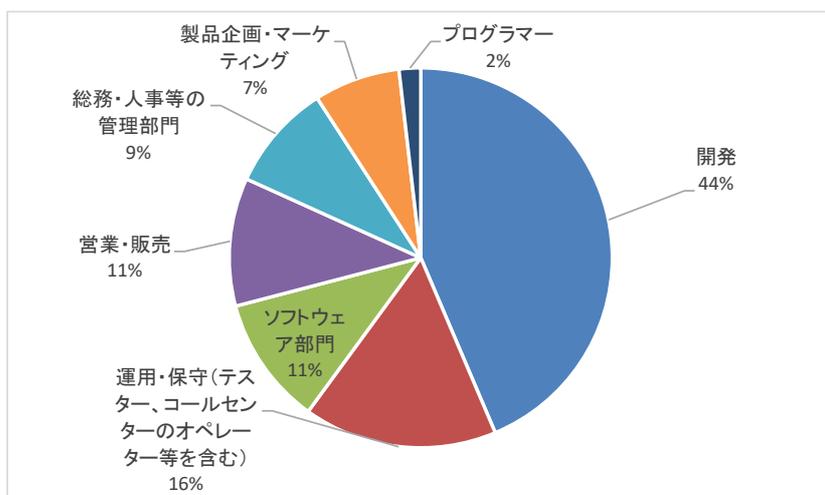
Q: 貴社の業態として、最も中心的な業務をひとつお選びください。



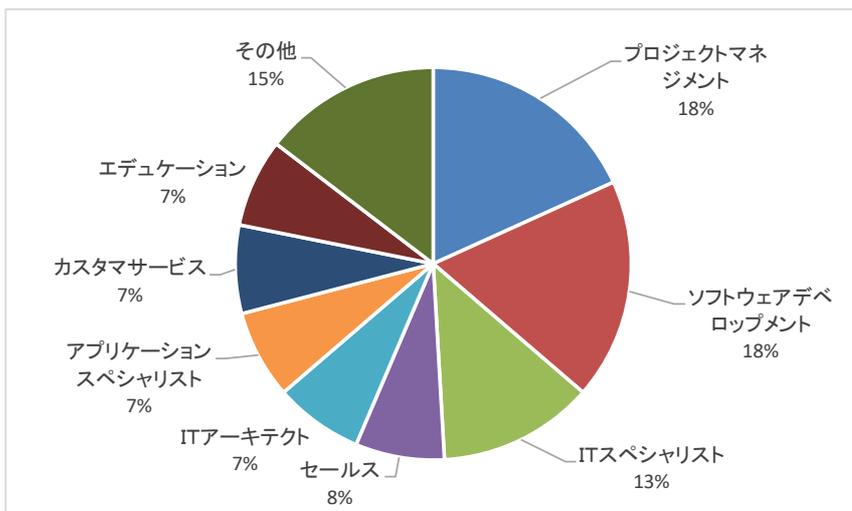
Q: あなたのお勤めの会社の従業員数の規模についてお伺いします。ひとつ選んでください。



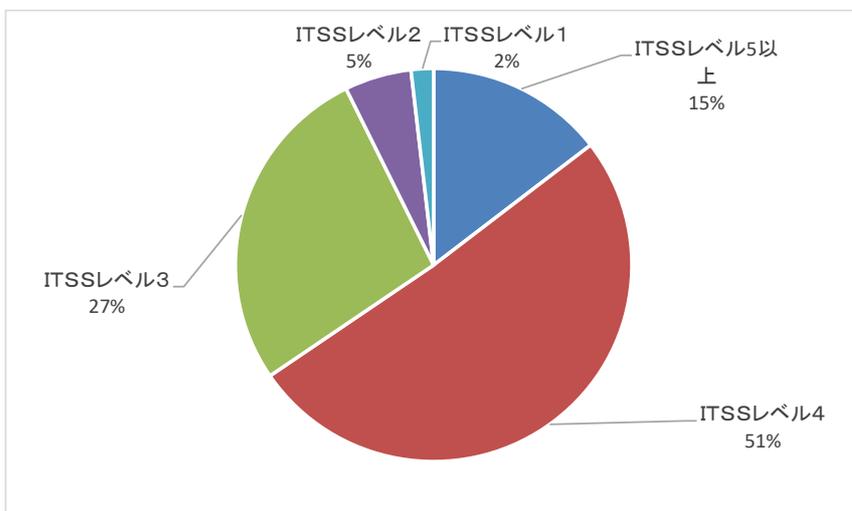
Q: あなたの現在の仕事・役割についてお伺いします。ひとつ選んでください。



Q: ITSSの職種の定義から、あなたにあてはまる職種をひとつ選んでください。

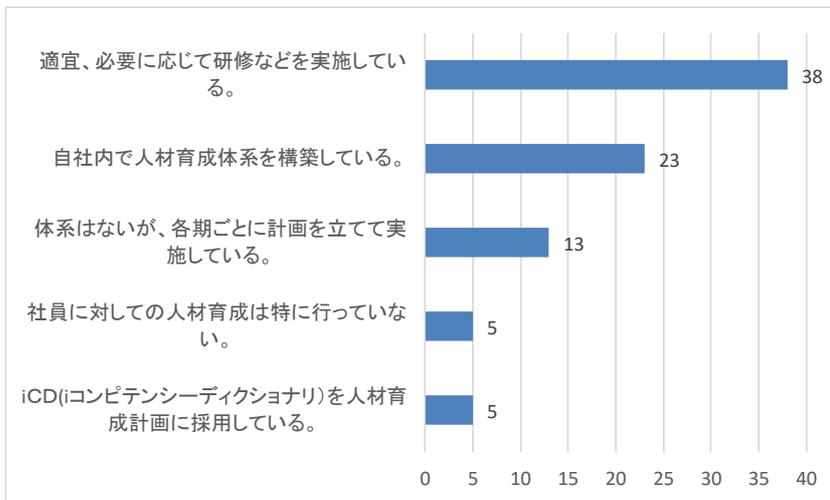


Q: ITSSが定める職種ごとの能力レベルにおいて、現在のあなたのスキルレベルはどのくらいかご自分の判断で、ひとつ選んでください。

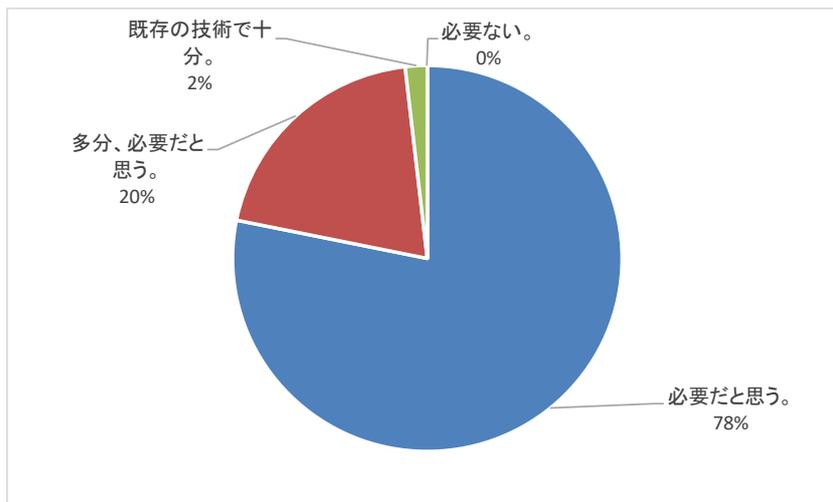


【人材育成について】

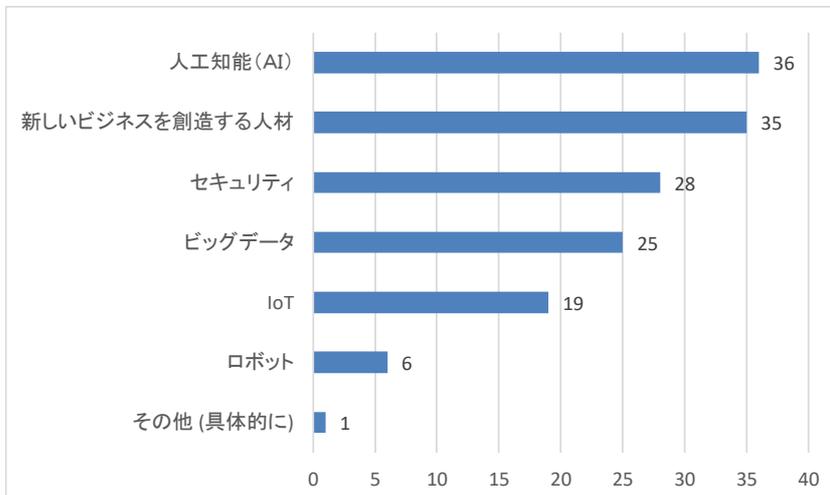
Q: あなたが勤めている会社の人材育成についてお伺いします。該当するものを複数お選びください。



Q: 今後、IT技術の革新（第4次産業革命とも呼ばれる）を担う人材は必要だと思いますか？ひとつ選んでください。

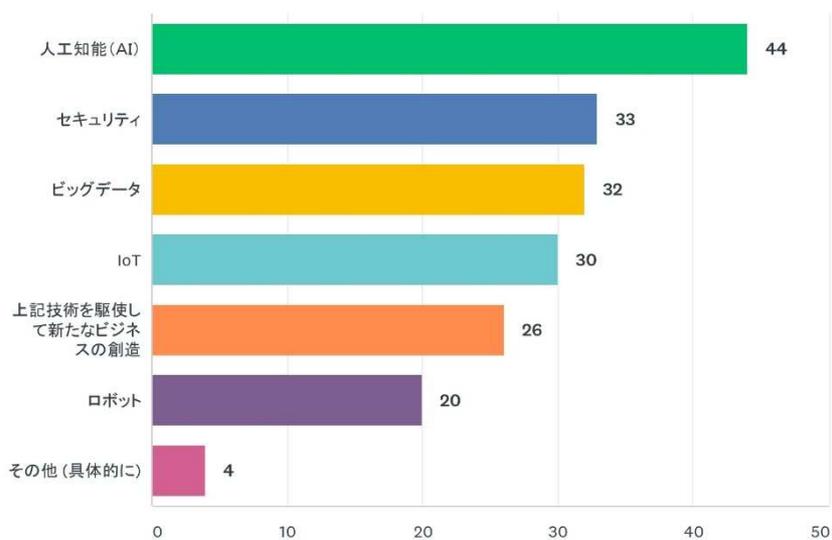


Q: 具体的にどのような技術を身につけている人材が必要だと思いますか？複数お選びください。



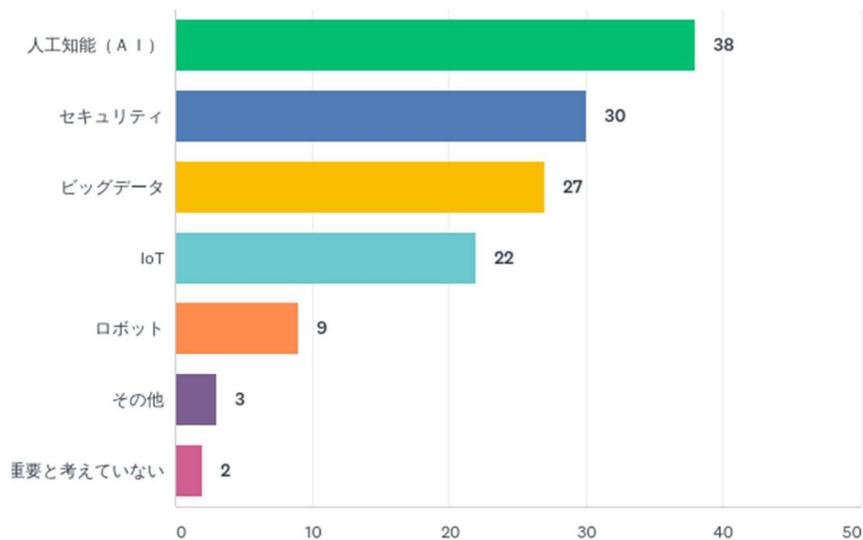
【第4次産業革命への対応】

Q: 第4次産業革命の波は、データ量の増加、処理性能の向上、AIの非連続的変化により技術のブレークスルーが起きようとしています。会社として関心ある事業分野を複数お選びください。



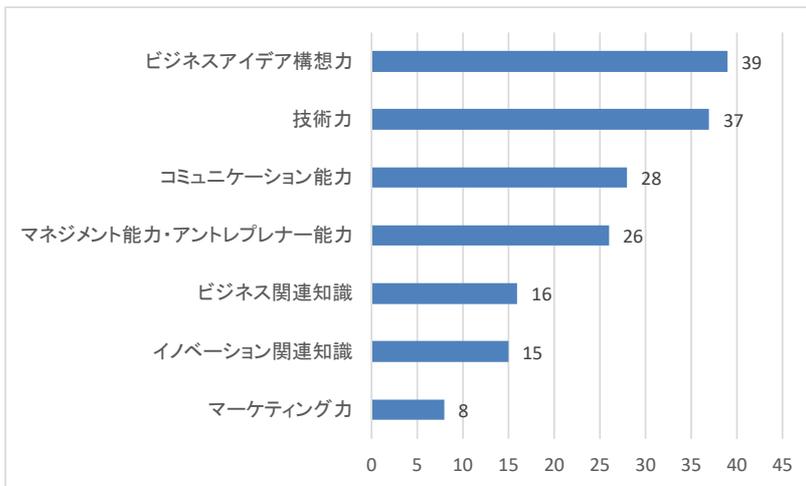
- ・ブロックチェーン
- ・AR、VR、MR
- ・アルゴリズム開発, コーディング
- ・User Activity Analysis

Q: 上記設問のうち、スキルアップするうえで重要と考えている技術を複数お選びください。

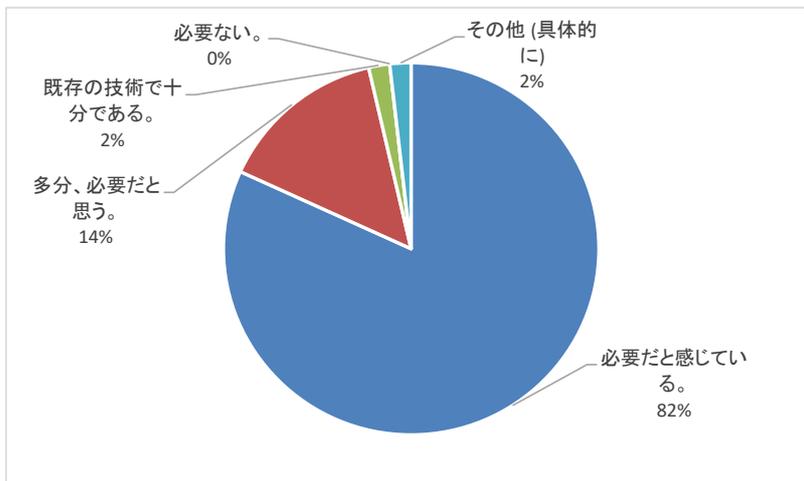


- ・ブロックチェーン
- ・ネットワーク・プログラミングなどの基礎技術
- ・コンピュータサイエンス, ネットワーク, プログラム開発手法技術全般

Q: 上記項目の他、自分が成長するためには、どのような能力が重要でしょうか？下記項目の中で重要と思われる項目1~3つまで選んでください。



Q: あなたは、新たに高度な技術を学ぶ必要性を感じていますか？ひとつ選んでください。

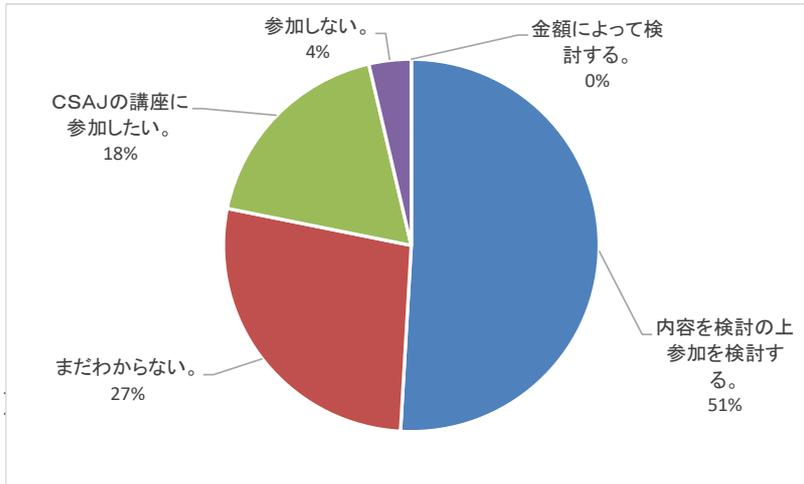


Q: 第4次産業革命のスキルを学んだ場合、具体的にどのような業務が可能となりますか？（自由記述）

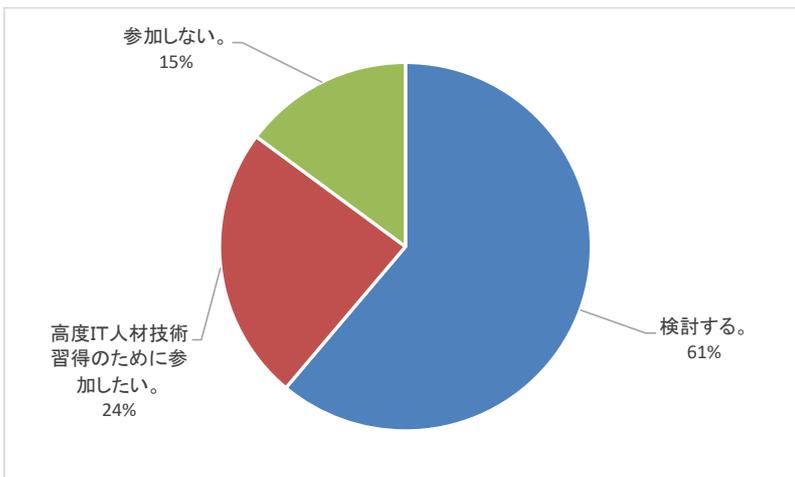
- それを見つけるために学習したい。
- 現時点で、具体的な業務を想定できていない。知識を身につけて、既存業務にいかしたい。
- 過去データから高い精度の需要予測を算出し、経営計画に直結する情報を提供する、生産管理システムの構築。
- 人の判断が必要だった高度な業務の自動化やサポート
- スキルを活かしてユーザーがより便利になるものを開発していけ
- 市場に溢れる技術、製品、人/組織をコーディネートするコンサルタント業務
- AIが患者を診察可能となり、過疎地域の医療が充実可能となる
- IoTを利用した次世代農業システム
- データ解析（含むAI）は、顧客データやコールのデータの解析や対応方針の決定に利用できる。また、セキュリティは自社の主観業務にあたるので一般技術を身につけることで顧客に提案できる内容に幅が出てくると考える。

【CSAJの人材育成講座について】

Q: CSAJでは、「第4次産業革命を担う人材育成の講座」を開設する予定です。下記から当てはまる項目をひとつ選んでください。



Q: 現在、CSAJで検討している講座は、全8カテゴリー合計120時間で約1か月かかるロングランコースです。技術者の皆さんが参加しやすいようにイブニング講座、土日講座、eラーニング、スカイプを組み合わせて講座に参加しやすいように検討しています。長期のコースに参加することは可能でしょうか？以下からひとつ選んでください

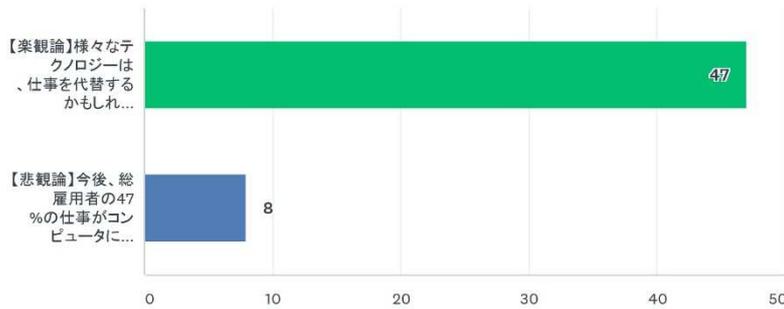


※理由

- ・時間がとれない
- ・長期コースの参加は困難であり、参加しやすい工夫を考慮していただくことは歓迎
- ・内容として、分割単元化可能と感じる。
長期すぎる講座は、最終的な資格取得など明確なメリットがないと、参加は難しい
- ・料金等による
- ・現在の立場上、長期間業務から離れるのは難しいため
- ・スキルアップはしたいが、育児と仕事の両立のため、定時外の講座参加は難しいので、昼休みを活用したeラーニングによるスキルアップを検討したい。
- ・機会があるのであれば学習するべきと考えるから
- ・カリキュラム次第であり、業務との兼ね合いを相談したい。

【第4次産業革命による変化】

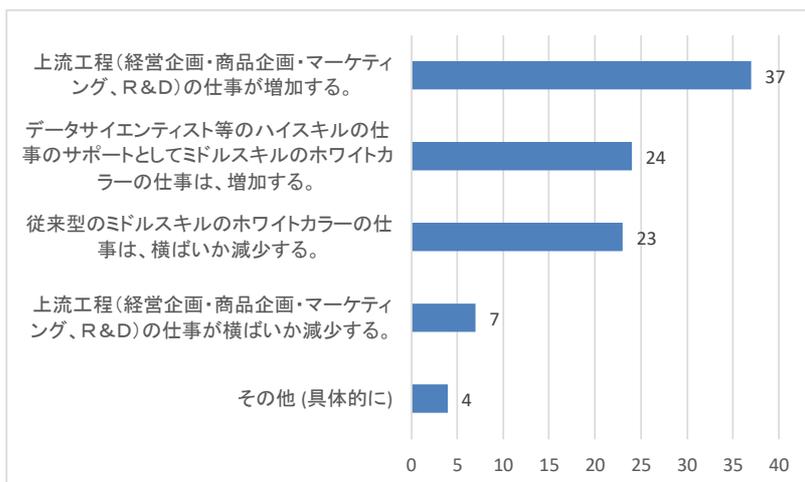
Q: 第4次産業革命の「仕事・労働」への影響についてお伺いします。楽観論と悲観論がありますが、あなたはどちらに賛同しますか？どちらかをお選びいただき、下記に理由もお書きください。



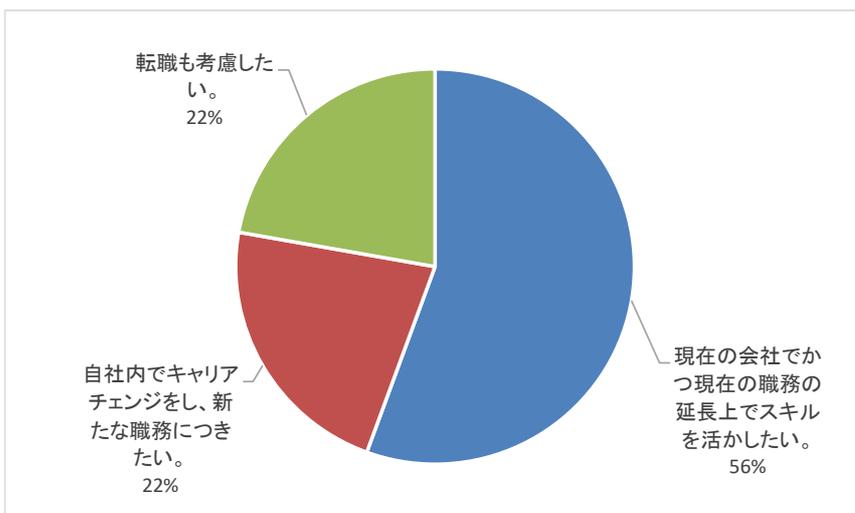
(理由)

- AI やシステムが代替できる分野もあるが、新しいことを創造するのは人間であるから
- 事実だから。次の3種の業務は残ると考えている；自動化されるまでの業務を担う人、自動化を行う人、自動化の対象となる仕事を作り出す人
- 今存在する仕事は、今存在する技術の範囲内で人間が想像できている仕事にすぎないので、新規技術が現れればまた人間は新しい仕事を考えつくだろうと思うから。
- 産業革命などの歴史が証明
- 少なくとも自分が生きているうちは自動化は安定せず、最終的には人 となる気がしてるから
- 機械だけで何かを新しく生み出すことはできないから
- 主には単純労働作業が置き換えられるが、その自動化を支える人材が必要になる。
- 自動化するシステムの開発は残る。自動化されるシステムの品質やセキュリティをどう確保するか。
- さまざまなテクノロジーも利用する人間次第であり、その時々に応じて利用方法を生み出していけると考えるため
- より技術が高いものを求めることでスキルアップしていく為
- AI の進化により知的労働が人から機械にシフトする
- 今までも、人の代わりに機械が代替してきたが、それに代わる仕事が出てきているので、これからも今までになかったような仕事が出てくると思う。
- 53%は自動化できない仕事ともいえ、全てが自動化することはできず、かつ新たな仕事や役割が必要になってくると思われるため。

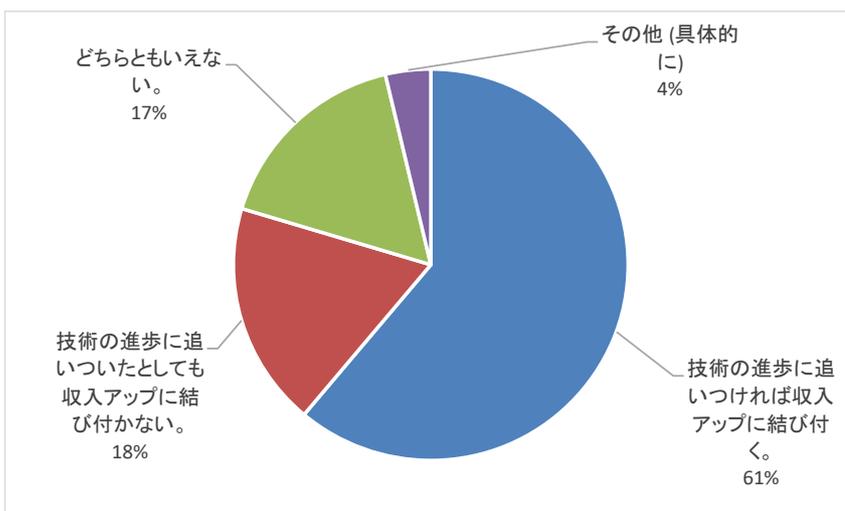
Q: 第4次産業革命による「仕事の内容」の変化についてお伺いします。下記の項目で賛同する項目を複数選んでください。



Q: あなたが第4次産業革命を担う新しい技術を身につけたとしたら、自分のキャリア選択をどのようにお考えになりますか？ひとつ選んでください。



Q: 第4次産業革命が実現した場合、「あなたの収入」にどのような影響があるでしょうか？ひとつ選んでください。



個人の技術力と収入アップは関連付けて考えることに意味を感じない
会社としてのビジネスを成功させる人財育成に貢献できれば収入はUPする。